

直線部・端部 定尺:3m / 2m切り出し品

1. 取付金具の個数確認

設計支援ツール「笠木強度確認書」により、取付け条件下の風圧及び積雪に対して、笠木1本の取付け強度を保有するために必要な取付金具（受けプレート）の個数を確認する。

井上商事㈱ホームページより「笠木強度確認書」入手
URL : https://www.inoue-s.co.jp/tools/kyodo_kasagi/

- ※) 設計支援ツールは、日本金属笠木工業会「アルミニウム製笠木 設計の手引き」に準じて井上商事㈱が作成したものです。
- ※) 設計支援ツールは、井上商事㈱シルバーライン笠木の標準的な納まり専用の設計支援ツールです。
- ※) 取付金具の標準個数は、定尺や笠木幅によって異なりますので、井上商事㈱「アルミ笠木シリーズ」カタログにて確認下さい。
- ※) 標準以外の納まりによる強度確認につきましては、都度、確認する必要があります。
- ※) 建物高さ44m以下での使用に適用となります。44mを超える場合は、都度、確認が必要となります。

「笠木強度確認書」に入力した、取付金具の個数により、OK判定と表示されていれば強度上安全といえます。

取付金具個数 (n) = () 個

2. 取付金具の最大固定ピッチ算出

取付金具（受けプレート）最大固定間隔の算出式は下式による。

$$\text{笠木 取付金具 最大固定間隔 (@)} = \frac{\text{笠木定尺 (L)} - (200 \times 2)}{\text{受けプレート個数 (n)} - 1}$$

●算出例

(条件)

笠木定尺 (L) : 3 m
取付金具個数 (n) : 4 個

$$(@) = \frac{3000 - (200 \times 2)}{4 - 1}$$

$$= 866.66$$

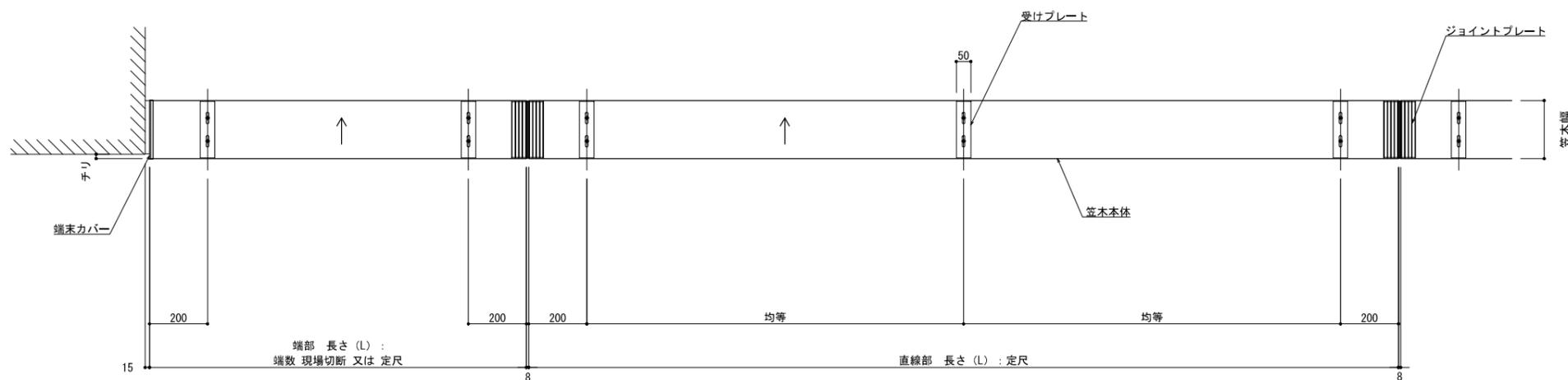
∴ 取付金具 最大固定間隔は、867 mm 以下とする

算出式により求めた、最大固定間隔の値以下で取付金具を配置する。

(@) = () mm以下

3. 取付金具（受けプレート）の配置

笠木の両端から200mm入りの位置に取付金具を配置し、最大固定間隔値の範囲内となるように必要個数を均等に配置する。



笠木受け材配置 平面割付図 S=1:10

4. 取付金具 最大固定間隔の施工図 図中表示の方法

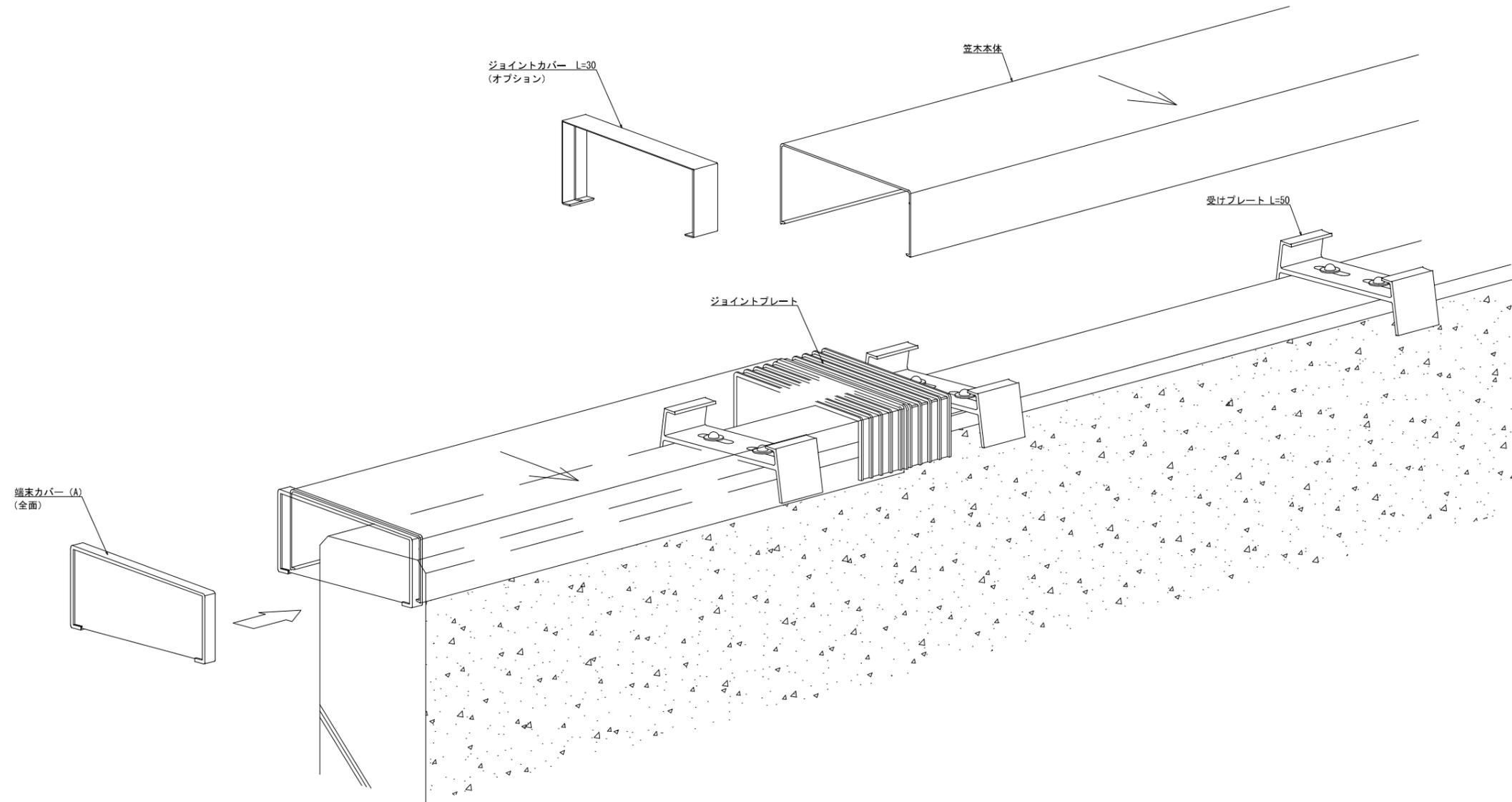
笠木施工図 平面割付図の図中に、取付金具（受けプレート）の最大固定間隔の値を必ず表示する。

- 1) 図中に「笠木表題」を付す。
- 2) 記入項目に必要事項を記入する。
※ 必須項目：最大固定間隔 (@ ≤ mm)
※ 下記、記入例参考

●笠木表題 記入例

取付場所		箇所数
5F 屋上		1箇所
製品区分	色	
笠木	シルバー	
* 受けプレートの個数と最大固定間隔 *		
タイプ	個数	最大固定間隔
SL-250	4	@ ≤ 867 mm
製品取付高さ: (16.2) m		
積雪量の区域: <input type="checkbox"/> 一般区域 <input checked="" type="checkbox"/> 多雪区域		
※ 該当項目は、■印とする。 □印は、適用しない。		

改訂年月日	概要



改訂年月日	概要